

各 位

 上場会社名 株式会社 オービス
 代表者 代表取締役社長 中浜 勇治
 (コード番号 7827)
 問合せ先責任者 経理部長 井上 清輝
 (TEL 084-934-2621)

業績予想及び配当予想の修正(復配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年12月13日に公表した平成26年10月期(平成25年11月1日～平成26年10月31日)の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,691	△79	△176	114	66.15
今回修正予想(B)	9,132	473	369	1,131	653.44
増減額(B-A)	441	552	545	1,016	
増減率(%)	5.1	—	—	887.8	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	10,989	16	△58	△1,153	△666.22

平成26年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,934	△160	△181	△105.02
今回修正予想(B)	8,401	1,060	1,120	647.28
増減額(B-A)	467	1,220	1,302	
増減率(%)	5.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	10,242	△60	△1,158	△669.39

修正の理由

(連結損益)

木材事業において、採算性の低い姫路工場の生産ラインを平成26年2月末で停止し、利益率の高い本社工場へ生産を集約すると共に、平成26年4月からは本社工場において2シフトによる増産を開始する等、合理化を前倒しで推し進めてまいりました。また、姫路工場の操業停止に伴い梱包市場等に対する製品の供給量が減少したことで足元の需給バランスが改善され、製品の適正な販売価格への引上げが進んだことで、原木消化(生産)量は13.8%、製品出荷量は11.7%、製品販売価格は10.4%それぞれ前回予想値を上回る見込みであることから、収益性が大幅に改善され、全社ベースでの営業・経常損益共、赤字予想から黒字転換となる見込みであります。

特別損益において、連結子会社が保有する木材運搬船の売却に係る固定資産売却益が前回予想値を2億22百万円上回り、カラオケ店舗の営業譲渡による固定資産売却益18百万円及び役員退職慰労引当金戻入額70百万円を計上する見込みであります。

当期損益において、上記連結子会社の木材運搬船の売却等に係る所得(翌期の当社への配当原資)に対して、税効果会計を適用して繰延税金負債(法人税等調整額)1億64百万円の計上を見込んでおりましたが、当連結会計年度において当社への配当を実施し、当該連結子会社を平成26年9月に解散する見込みであることから、繰延税金負債(法人税等調整額)の計上が不要となる見込みであります。

上記の結果、営業利益は4億73百万円(前回予想値は営業損失79百万円)、経常利益は3億69百万円(前回予想値は経常損失1億76百万円)、当期純利益は11億31百万円(前回予想値比887.8%)となる見込みであります。

(個別損益)

連結損益の木材事業の記述に加え、経常損益において、翌期に予定しておりました連結子会社からの受取配当金6億87百万円及び特別損益において、固定資産売却益16百万円、役員退職慰労引当金戻入額70百万円を計上する見込みであります。

上記の結果、経常利益は10億60百万円(前回予想値は経常損失1億60百万円)、当期純利益は11億20百万円(前回予想値は当期純損失1億81百万円)となる見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年12月13日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	0.00	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年10月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社の配当政策は、業績の伸長を踏まえ、かつ将来の事業展開、設備投資等を総合的に考慮した上で配当性向を勘案しつつ、継続的に適正な利益還元を行うことを基本方針としております。

この度、上記業績予想の修正及び事業環境・財務体質の改善等を総合的に検討を重ねた結果、復配に向けた体制が整いつつあると判断し、前回予想では無配としておりました平成26年10月期の期末配当予想を1株当たり10円に修正いたします。

なお、本件は平成27年1月開催予定の第55回定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。

以 上